

6、107、0

(包紙)

「元治二年丑正月

帶刀御免

御書附」

6、107、1

大谷九之右衛門

其方儀家柄之者<sup>ニ</sup>

候之處旧冬以来

中将様御滞

城中忤善右衛門義魚類

御用日勤出精致し候

<sup>ニ</sup>付代々帶刀御免

被仰付候様奉願趣重キ

儀<sup>ニ者</sup>候得共格別之

御評儀を以願之通

代々帶刀被成御免旨

被仰出候